

(別記様式)

# 特定間伐等促進計画（例）

福井県 ○○市（町）  
平成○年○月

## 1 特定間伐等促進計画の目標

間伐等の実施の促進に関する特別措置法第3条の規定により定められた県の基本方針によると、県下の間伐等の実施の促進に関する基本方針では、特定間伐等の実施の促進の目標として、〇〇〇〇haの間伐の実施を掲げており、これは平成14年度から18年度の実績と比較すると大幅な増加となっている。

〇〇町の平成14年度から18年度の5カ年間の間伐実施面積は〇〇〇〇ha（年平均〇〇〇ha）であるが、県の基本方針や当市の間伐の実施状況を勘案して、平成20年度から24年度までの5カ年間で〇〇〇〇ha（年平均〇〇〇ha）の間伐を行うことを、本〇〇町特定間伐等促進計画の目標とする。

## 2 特定間伐等促進計画の区域

県の基本方針に定められた、特定間伐等の実施を促進するための措置を講ずべき区域の基準に従い、さらに、本町の区域の範囲 別図のとおり（国土地理院1/25000地勢図相当の図面に図示（1/5000森林基本図の使用も可））

注） 特定間伐の実施計画を網羅するようある程度広めに区域設定する  
人工林を厳密に拾う必要はなく、介在的な天然林を含め、間伐が必要な範囲を面的に区域設定する

### 3 特定間伐等の実施計画

#### (1) 間伐

間伐実施主体	事業実施年度	所在場所				間伐を実施する森林の現況				間伐の内容		対図番号 又は 林小班名	備考
		都道府県	市町 (郡)	字 (大字) 又は 林班	地番 又は 林小班	面積	樹種 又は 林相	林 齢	適 用	間伐 の 方 法	間伐 立木 材積		

※①枚数が多くなる場合は、別紙としても可。

②間伐と一体的に実施する他の作業種については、備考欄に記載

③森林施業計画に基づき実施する箇所については、当該認定番号等をもって記載を省略することができる。

ただし、この場合においても「間伐実施主体」および「間伐の方法」は必ず記載すること。

認定番号等記載方法 「事業実施年度」欄に「森林施業計画」と記載し、「都道府県」欄に「認定年度」、

「市町」欄に「市町コード」、「字」欄に「認定番号」、「地番」欄に 森林の現況並びに伐採計画及び造林計画における「通し番号」

(2) 造林

事業実施主体	事業実施年度	所在場所				造林の内容					対図番号 又は 林小班名	備考
		都道府県	市町 (郡)	字 (大字) 又は 林班	地番 又は 小班	造林面積	うち 植栽 面積	植栽 時期	植栽 樹種	植栽 本数		

※ 造林後に実施する下刈りについては、備考欄に記載。

※ (1) 間伐 ※③に準じる。



(4) その他施設

事業 実施 主体	事業 実施 年度	所在場所				施設 名	数 量	対 図 番 号  又は 林小 班名	備 考
		都 道 府 県	市 町  ( 郡 )	字  ( 大 字 ) 又 は 林 班	地 番  又 は 小 班				

(5) 事業実施箇所

(国土地理院 1/25000 (P) 地勢図相当の図面に図示 (1/5000 森林基本図の使用も可))

特定間伐等促進区域を図示すること。

- ① 事業実施箇所を図示
- ② 対図番号又は林小班名を表示

ただし、森林施業計画に基づき実施する箇所については、上記①、②の図示等は必要ない。

4 森林施業の共同化の促進に関すること

5 担い手の育成及び確保に関すること

6 間伐事業の合理化に向けた取組の方向